

2021年2月9日

(倫理審査委員会承認日以降) 第1.0版

研究に関するお知らせ

COVID-19に対するステロイドの効果に関する

後ろ向き検討

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 呼吸器内科は、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

■研究目的・方法

ステロイドのCOVID-19に対する有効性については、過去の研究ではデキサメタゾンの投与が重症COVID-19患者の28日死亡率の改善に寄与したと報告されています。本研究ではARDSや重症肺炎に対するステロイドの投与法に準じた使用法における重症COVID-19患者への効果を検討します。COVID-19の重症肺炎患者はいまだ世界中で大きな問題となっており、有効と考えられる治療法の選択肢を示すことは、COVID-19のより安全かつ有効な治療の開発に重要な意義があると考えられます。2020/2-2020/4の期間にCOVID-19と診断され当院に入院した方のうち、規定のステロイドの使用を受けた症例とステロイド治療を受けなかった症例を比較し、有効性について比較観察検討します。

■研究期間

理事長承認日～西暦2022年3月31日

■研究の対象となる方

2020/2-2020/4の期間にCOVID-19と診断され当院に入院した方。

■研究に用いる試料・情報の種類

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報（現病歴、バイタル、検査結果等）を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

あなたのご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。
ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■研究責任者：

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 呼吸器内科 鈴木学

■お問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

所属・役職：呼吸器内科 レジデント

氏名：森田 智枝

電話番号：03-3202-7181（代表） 内線：4649

受付日時：平日 9時-17時

メールアドレス：cmorita@hosp.ncgm.go.jp